

質問事項に対する回答書53

(件名)磐越自動車道 黒森山トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	12/27	質疑回答40		7	鋼矢板打設地盤の最大N値は50<N≦100と回答がありましたが、ジェットグラウトの改良地盤はN≦50のままでよろしいでしょうか。	鋼矢板打設地盤の最大N値は、R6.12.10当社HP掲載の「質問に対する回答書40(番号7)」のとおりです。 ジェットグラウトの改良地盤は、N≦50とお考えください。
2	12/27	特記仕様書	54	27-30(4)	セメント固化材は、一般軟弱土用、フレコンでよろしいでしょうか。	R6.12.10当社HP掲載の「質問に対する回答書40(番号3)」のとおりです。
3	12/27	特記仕様書	58.59	27-33、27-34	既設Gr-B4-2Eは林道迂回路工で撤去(137m)し、林道迂回路復旧工で再利用(56.5m)するのでしょうか、それとも撤去材は全て引渡し、新品材で別途復旧するのでしょうか。	林道迂回路工で撤去した防護柵は、特記仕様書16-1のとおりです。 林道迂回路復旧工に使用する防護柵は、新品材となります。
4	12/27	回答書48		4	土工部上部路床材は路盤排水工の掘削土(インパート埋戻し材)との回答より、掘削土は坑外仮置き場①からトンネル内(貫通後)を 通って路床部へ運搬すると考えてよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
5	12/27	特記仕様書	64	27-39	調査ボーリング工につきまして、オールコア2458mとなっており、これには起点側明かり巻き部分の延長も含まれています。トンネル掘削分の延長のみでよいわけでは無く、設計書通りの2458mの数量でよろしいのでしょうか。	そのとおりです。